



パチンコの魅力、伝えていかねば

「さようなら平成、こんにちは令和」

元号をまたいだ4月から5月にかけて、こんなフレーズを冠したイベントや商品などが、あちらこちらで見受けられました。それらの中で、私が一番興味を引かれたのが「山手線駅スタンプラリー」でした。元々、平成から令和に向け色々なパチンコホールの様子を覗いておきたかったので、各駅のスタンプをゲットしながらチェックしてみよう、と思いついたわけです。山手線一周ではあるものの、各駅周辺でホールもチェックするため、とりあえず4月29日から3日間程度の予定で始めてみることにしました。

ちなみに私が各ホールに期待していたことは、平成のうちは「さようなら平成」、令和になったら「こんにちは令和」といった貼り紙などの、時代を感じさせるディスプレイがメイン。やはり仕事柄、そういった光景を写真に収めておきたいですし、自分自身の記念にもなるからです。とにかく初日は勢いをつけることが大切だ、とばかり池袋や新宿といった、ホールが色々と集まった地域に降りてみることにしました。

ところが、期待していた「さようなら平成」等のメッセージは全く見当たりません。かろうじて1軒「令和最初の新台幣入替」を告知しているところがあったものの、いきなり肩すかしです。そんな具合で結局初日は20軒ほど見て回って成果はほぼ「0」。まあ、まだまだホールはあるし、明日は見つけられるはず！ と、平成最後の日に賭けるような気持ちで翌日も出かけましたが、1軒「平成から令和へ」といったメッセージの入ったオリジナルポスターを掲示していただけ。……いくら業界が落ち込んでいるとはいえ、もはや改元を祝ったりする掲示を行う余裕もないのだろうか？ それって、かなり危機的状況と言えるのでは!?

平成最後の日はそんなガッカリした気持ちを隠せずに過ごし、さて5月1日、いよいよ令和がやって来ました。もはやスタンプラリーの順番など無視して朝から池袋



楽しく有意義だった、山手線スタンプラリー。またやりたいです!

のホールに向くと、2日前にはなかった「のぼり」が何本かパタパタとはためいています。もしや？ と、はやる気持ちを抑えつつ近付き、「祝・令和」と書いてあるのを確認した瞬間、鳥肌が立つような喜びが駆け巡りました(笑)。やったやった、こういうのを待ってたのよ！ よし、まだ頑張ろう！ と気合いを入れ直して繁華街中心でチェックしたところ、3～4軒に1軒程度の割合で「祝・令和」関連のディスプレイを掲示しており、けっこうな「戦果」を挙げられました。

そんなこんなで結局スタンプ集めに4日間かかってしまい、歩数も7万歩越えて疲労困憊状態でしたが、時代の移り変わりを自ら実感できたことは大きな喜びとなりました。一方、実際に回ってみると廃業したホールが予想以上に多かったことも分かり、業界の実情を改めて感じさせられたとも言えます。しかし少なくとも令和を祝うメッセージを掲示していたホールは新時代を生き抜いていく覚悟もあるはずですから、そうした店舗を中心に、何とかファンのパチンコ離れを食い止めてもらいたいと願っています。山手線ラリー完走記念の「特製クリアフォルダ」と平成や令和の文字が入った切符、そして何より各ホールの記念写真や改元の実感など、今回の企画で手に入れたプライスレスのものたちを前に、私自身もまだまだ多くの方にパチンコの魅力を伝えていかねば、と決意を新たにしました。

じんぼう・みか

法政大学卒業後、文具メーカー勤務を経て業界誌記者となり、1993年独立。取材記事、コラムなど連載。近著「パチンコ年代記」(バジリコ、07年)